

令和5年度 孤独・孤立に関する悩みごと調査 結果

主なポイント

【今回把握できた悩みごとについて】

- 保育所入所や、認知症関連の悩みの他、金銭面での不安、生活環境(自宅・自宅周辺)に関する要望、近所や夫婦間の人間関係など、幅広い分野の悩みを把握することができた。
- 外出減少や物忘れの懸念がある人(回答者の配偶者)について、地域包括支援センターが再訪問し総合事業につなげるなど、関係機関と連携して支援につなげた事例もあった。
- 回答者本人のことだけでなく、認知症の疑いがある人や一人暮らし高齢男性など、地域で気になる近隣住民の情報も把握することができた。

【調査方法について】

- 郵送調査に比べて、訪問調査の方が回答率が高い（訪問:51.0%、郵送:26.9%）。
- 回答があったもののうち、悩みごとを「あり」としている割合は訪問・郵送で同程度。
（訪問:25.0%、郵送:23.1% ※悩みごとを「あり」と回答した者の数／回答者数）
⇒回答率が高い分、郵送調査に比べて、訪問調査の方が把握できる悩みの数が多い。
（訪問:12.7%、郵送:6.2% ※ 悩みごとを「あり」と回答した者の数／対象者数）
- 訪問調査について、不在時には再度訪問したことにより、最終的に 66%の家庭について在宅時に訪問することができた。（参考:1回目終了時点の在宅率は48%）
- 回答者の性別は、訪問調査では女性の割合がやや高い一方で、郵送調査では男性の割合が顕著に高い。
（訪問・・・男性:42.3%、女性 57.7% 郵送・・・男性:82.1%、女性 17.9%）

【課題・改善を要する点】

- 関係機関との情報共有に係る同意が得られず、悩みごとの把握に留まったケースがあった。

【その他】

- 調査主体となった自治会や地域包括支援センター職員が、これまで面識のなかった住民も含めて地域のことを改めて知るきっかけとなった。
- また、事前に各戸に配布した調査の案内を読んでいる住民も多く、調査を実施したこと自体が孤独・孤立の問題について住民の意識を向上させる機会となった。

<目的>

孤独・孤立の課題を抱える方に対し、訪問によるインタビュー及び郵送によるアンケートを実施し、支援が必要であるにもかかわらず、届いていない人に支援を届けることを目的に、地域住民と連携し潜在的なニーズを把握する。今年度は、モデル的に実施し、結果の検証等を行い、今後の訪問調査活動に活かしていく。

<実施方法>

- ・訪問調査及び郵送調査
- ・訪問調査については、地域住民と市職員又は地域包括支援センター職員の2人ペアで実施。
- ・訪問調査及び郵送調査を実施することで、回収率や把握できる内容の比較検証を行う。
- ・不在者には、2回訪問を実施し、再度不在の場合については、郵送調査一式を投函。

<調査期間>

令和6年2月1日～令和6年2月20日

<調査対象>

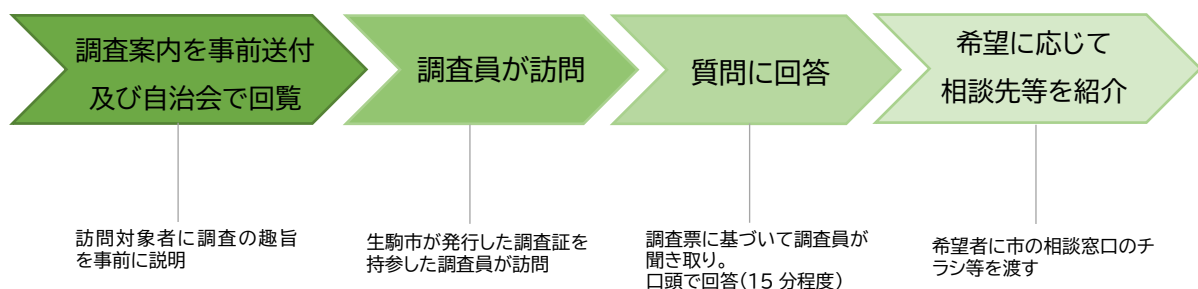
- ・エリア:谷田町を4つに分類(青・緑・ピンク・黄)
- ・訪問調査数:102件
- ・郵送調査数:145件



<調査担当者>

- ・谷田町自治会:4名
- ・東生駒地域包括支援センター:4名
- ・生駒市:5名

<訪問調査の流れ>



<調査結果>

■訪問調査(令和6年2月1日～2月19日)

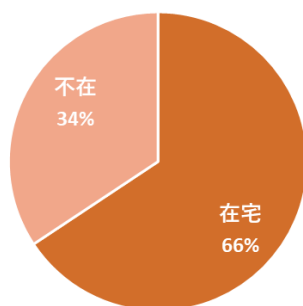
(件)

訪問数	在不在		回答あり	調査拒否	未返信
102	在宅	67	47 (アンケート回答4件)	4	16
	不在	35	5	—	30

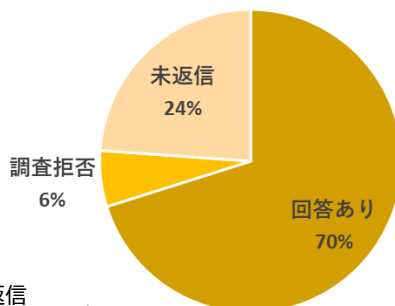
回答あり	性別		世帯状況			
	男	女	単身	複数	高齢者	未回答
52	22	30	6	31	14	1

家族関係						悩みの有無	
良好	概ね良好	普通	やや悪い	悪い	未回答	あり	なし
30	10	10	0	0	2	13	39

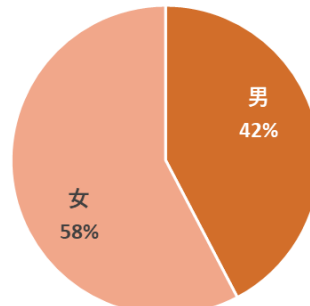
○訪問時の在宅率(2回訪問含む)



○在宅時の回答率

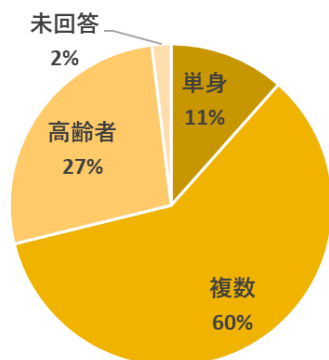


○男女比

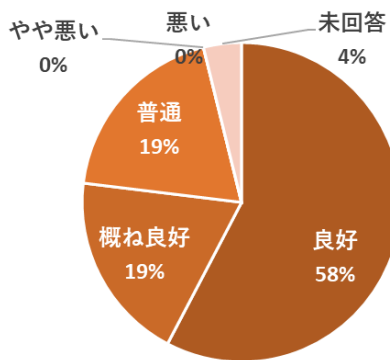


※未返信
2度訪問し、不在のため
郵送調査一書を投函するが、
未返信の者

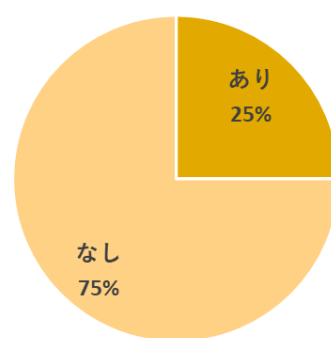
○世帯状況



○家族関係



○悩みの有無

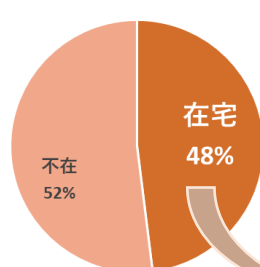


<2回訪問の効果>

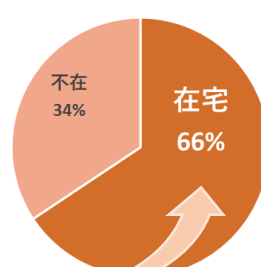
	1回目	2回目	合計
在宅	48	※ 19 / 54	67
不在	54	※ 35 / 54	

※1回目不在の54件を対象に2回目訪問を実施
1回目(平日)不在・2回目(休日)在宅⇒11件
1回目(平日)不在・2回目(平日)在宅⇒8件

1回目



2回目

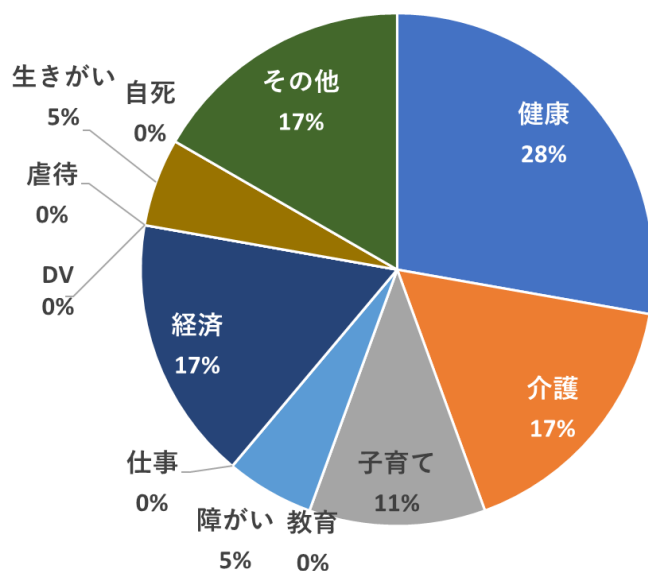


○悩みの類型(重複回答)

健康	介護	子育て	教育	障がい	仕事
5	3	2	0	1	0

経済	DV	虐待	生きがい	自死	その他
3	0	0	1	0	※ 3

※ごみ出しトラブル、ひきこもり、生活環境

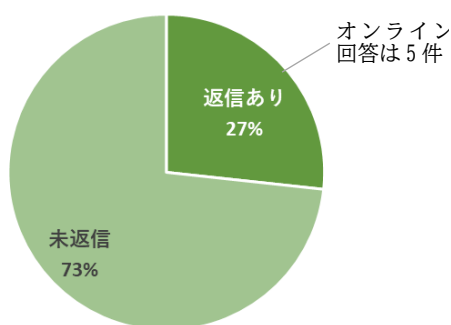


■アンケート調査(令和6年2月1日～2月20日)

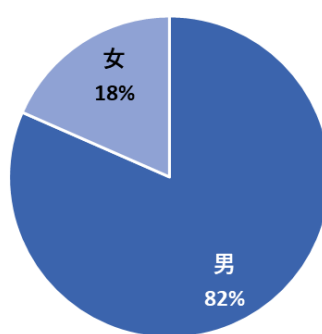
送付数	回答状況		性別		世帯状況	
			男	女	単身	複数
145	返信あり	39 (オンライン回答5件)	32	7	14	25
	未返信	107	-			

家族関係					悩みの有無	
良好	概ね良好	普通	やや悪い	悪い	あり	なし
26	8	4	1	0	9	30
-						

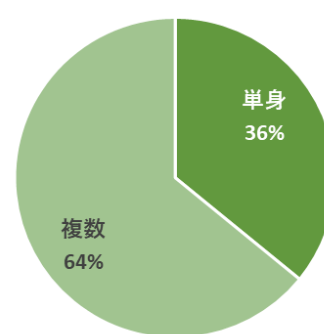
○アンケート返信率



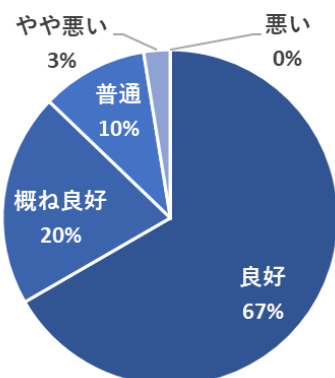
○男女比



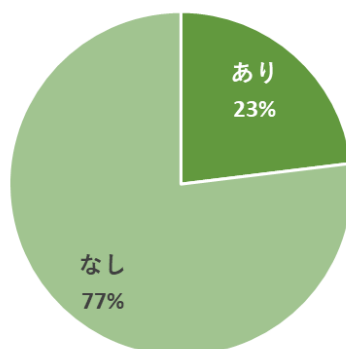
○世帯状況



○家族関係



○悩みの有無

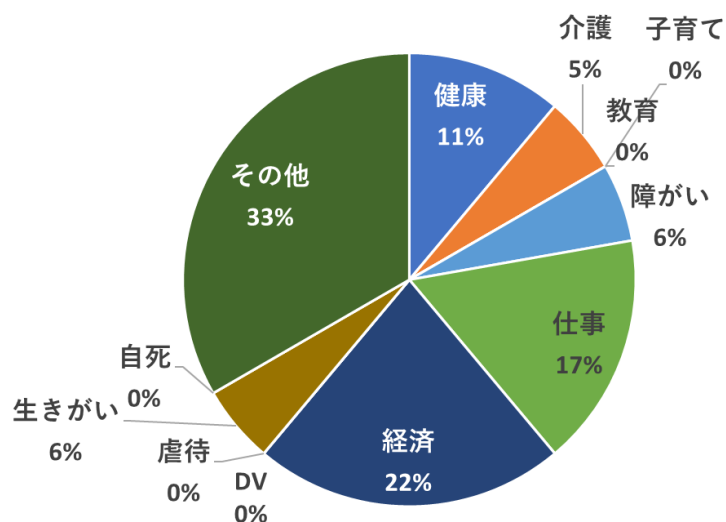


○悩みの類型(重複回答)

健康	介護	子育て	教育	障がい	仕事
2	1	0	0	1	3

経済	DV	虐待	生きがい	自死	その他
4	0	0	1	0	※ 6

※夫婦関係、生活環境、ひきこもり、家の修繕



(参 考)エリア別の在宅数 ※2 回目訪問対象は 1 回目不在者

青(訪問件数:30 件)

	1回目	2回目
在宅	12	6
不在	18	12

緑(訪問数:22 件)

	1回目	2回目
在宅	11	4
不在	11	7

ピンク(訪問数:26 件)

	1回目	2回目
在宅	12	7
不在	14	7

黄(訪問数 24 件)

	1回目	2回目
在宅	13	2
不在	11	9

■悩みごとの件数(訪問調査+郵送調査)

あり	22
なし	69

(悩みごとの一例)※調査対象者自身の悩みごと

★関係機関への情報共有を希望した人

■高齢者のみの世帯の悩み

★ごみ出しがきっかけで、近所関係が悪化。個別収集を市に依頼したが、断られた。

⇒個別収集の条件に該当しなかったため、シルバー人材センターによる有料ごみ処理を案内済。

・シルバー人材センターで働いているが、年金だけの生活なので、将来に不安がある。

・定年退職後の収入の減少。アルバイトをしているが少ない、相談していない。

・今春に定年を迎えるため、今後何をしたいか考えている。

■単身世帯の悩み

・し尿汲み取り作業が苦痛で、浄化槽を整備してほしい。

・入所できる保育所がなく、相談できるところもない。

・自宅前の街灯に木が覆いかぶさり、暗く歩くのが危険なので伐採してほしい。

・預貯金の残高が尽きそうになってから、いかに収入を得ていくかが懸案となった。就労・生活支援センターに相談し、事業所に通っているが、障害が寛解していけば、就労の方も見えてくるかと思う。

・高齢の両親のことと、自身の老後を含めた生活が心配。

■複数世帯の悩み

・主人の理解がなく、気に食わないことがあると長期間無視されることがある。

・公道の雨水が大量に敷地に流れ込み、自宅の老朽化が激しい。

・高齢のため、年1回の自治会清掃などの当番が困難になっている。

・母親の認知症への対応が難しいと感じている。

・近くに住む義姉世帯が心配。夫婦ともにガン、次男がひきこもりのため、親亡き後孤立する。

・今後の子育てについて心配がある。

・結婚を機に夫婦生活が始まったが、些細なことで喧嘩することが増えた。時間が経ち解決済で行政へ相談はしていない。

(関係機関につないだ事案)

★コロナで夫が外出しなくなり、最近はお忘れもあり、心配。

⇒後日、包括支援センターが再訪問し、総合事業につなげた。

★隣の空き家からの落ち葉が雨どいにたまり困っている。

⇒担当部署につなぎ、高齢のため高所作業が危険なことから、市が木を伐採することになった。

(近所関係の一例)※調査対象者が気づいた・感じたこと

■高齢者世帯からの回答

- ・家の横の伐採した跡地へごみがポイ捨てされている。
- ・地域に面倒見が良い人がいて、地域で見守り体制がなんとなくできていると感じている。
- ・近所付き合いはあまりないので、分からない。

■単身世帯からの回答

- ・道路がヒビ、空洞化して地震等が心配。

■複数世帯からの回答

- ・隣人が高齢者の一人暮らし世帯のため、夜電気がついていないか気にしている。娘さんにも電話番号を伝え、何かあれば連絡してと話している。
- ・パート先のスーパーのお客さんで、1日に何回も来店し、お金を下ろそうとするが下ろせない人がいる。レジでお金を持っていないことも多く、認知症の可能性もあるかもしれない。
- ・隣にある空き家の草が刈りっぱなしで、火事などが心配。
- ・離婚して旦那さんがひとりで暮らしている家がある。初期の認知症らしいが、車で通勤している様子を見ると、生活に支障があるようには思わない。
- ・最近は見かけないが、以前お酒を飲んで歩いたり、失禁したりする男性がいた。
- ・近所のごみ捨て場にたばこの吸い殻が落ちていたり、スーパーの前に食べた後のごみが散らかっている車もあり、中学生のたまり場になっている気がする。
- ・近所に高齢男性がひとり暮らしで、夜にお酒を飲んで酔っ払い、大声で怒鳴っていることがある。

参考: 今回のモデル事業の実施に当たって作成したツール(資料等)

	ツール名	内容・補足説明
①	聞き取りの流れ	インタビューガイド。聞き取り方や留意事項等を整理
②	実施に当たっての事前案内	調査趣旨・概要の説明及び協力依頼。 自治会回覧用、訪問調査対象戸への送付用に2種類作成
③	調査様式(訪問用)	本様式に基づいて聞き取りを行い、調査員が記入する。
④	調査協力及び個人情報の取扱いに係る同意書	調査実施に際し、調査員から説明を受けて、調査対象者が署名。
⑤	他機関への情報共有に係る同意書	聞き取った悩みごとを担当機関・担当部署に共有するための同意書。聞き取り後に調査対象者が署名。
⑥	調査員証	訪問時に、調査員が対象者に提示するもの。市が発行。
⑦	調査協力依頼(郵送用)	調査趣旨・概要の説明資料。調査様式と合わせて送付。
⑧	調査様式(郵送用)	アンケート用紙。内容は③調査様式(訪問用)に準ずる。